JOIN US!

介護のしごと

11月11日は
介護の日

詳しくはこちらをチェック

北海道 介護のしごと

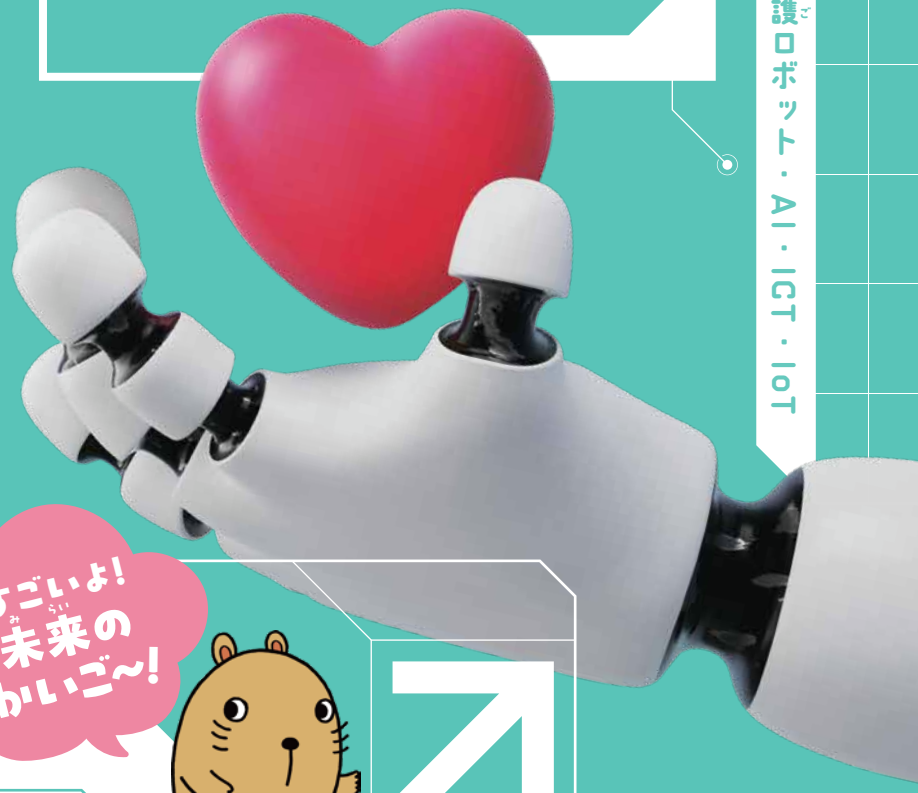
北海道

ミライの介護ガイド

MIRAINO
KAIGO
GUIDE

最新のテクノロジーを活用した介護現場を徹底取材！

介護ロボット・AI・ICT・IoT



すごいよ！未来のかいご〜！

北海道保健福祉部
高齢者保健福祉課

ミライの介護ガイド

MIRAINO KAIGO GUIDE

INDEX

02 介護ってどんなしごと?

03 テクノロジーでこんなに違う!
介護の現場Before/After

05 進化する介護現場!
未来の介護を支えるテクノロジー

INTERVIEW

07 介護現場(施設)
介護老人保健施設かけはし／坂下 哲朗さん

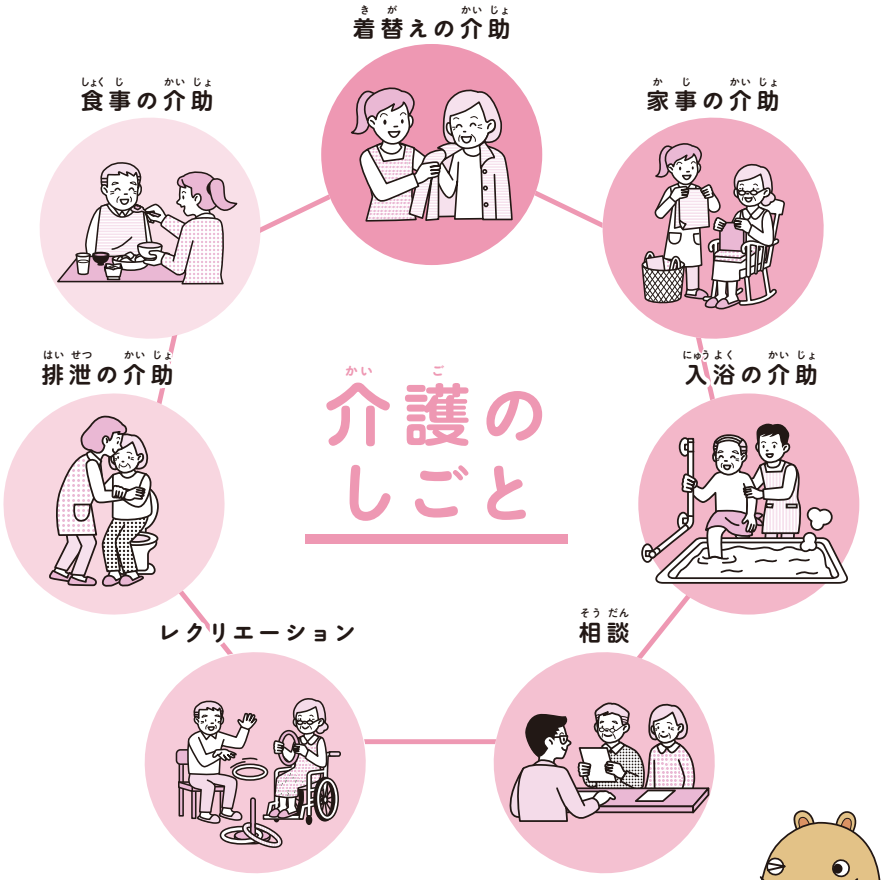
09 介護ロボットを取り扱っている会社
株式会社 マルベリー／稲葉 有沙さん

11 介護の職場ってどんなところ?

13 DATAでみる介護

14 介護DANCEをやってみよう

介護ってどんなしごと?



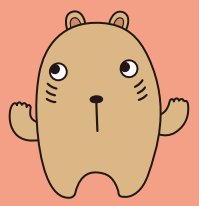
主な7つのしごと

介護が必要な人一人ひとりに合った手助けをするほか、ゲームや歌、季節の行事などのレクリエーションを考えたり、ご家族の相談に乗るなど仕事の内容は幅広いですが、それだけに責任もやりがいもあるしごとです。

介護現場の未来が変わる！

テクノロジーでこんなに違う！Before/After

介護のお仕事は、人の命や生活を支える大切な仕事です。でも、体力も時間もかかってしまう場面がたくさんあります。
そこで活躍しているのが「介護テクノロジー」。
今回は、実際の現場で「どれだけ変わったのか？」を比べてみましょう！



Before

After

例① ベッドからの移動が楽になった

人のチカラでの移動

●お年寄りを介護士が抱え上げて
ベッドから車椅子へ移動
●2人がかりの作業になることもあり、
腰痛の原因にも…
●お年寄りにも不安や
負担がかかる

移乗サポートロボット

●ロボットが体を持ち上げて
くれるから、力仕事が激減！
●1人でも安全に移動
できるように
●お年寄りも安心して体を
任せられる

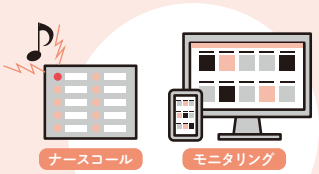
介護士の体の負担が減って、ケガも防げる！

例② 見守りサポート

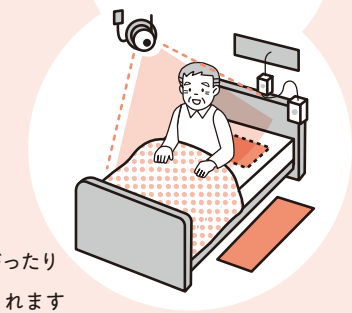
職員の見回り

●介護士が巡回して、
お年寄りがベッドから
落ちていないか確認
●不安で眠れない人も多い

次世代高齢者見守りシステム



●ベッドの下に敷いたマットが、
お年寄りの動きを感じ取ります
●ベッドから落ちそうになったり、起き上がったり
すると、すぐに介護する人に知らせてくれます
●カメラで部屋の様子を確認できるので、本当に助けが必要かどうかが分かります



「もしも」の前に気づけるから、事故を未然に防げる！

進化する介護現場！

未来の介護を支えるテクノロジー

日本では、お年寄りがどんどん増えています。
でも、介護の現場では人手不足が深刻な問題になっています。
そこで、機械や最新の技術を使って、介護のお仕事の負担を軽減しようという取り組みが始まっています。

1 見守りコミュニケーションロボット

見た目はぬいぐるみみたいだけど、お年寄りの話し相手になってくれるロボット。

「LOVOT」とのふれあいを通じて、お年寄りの脳の働きが活発になり、物忘れの進行を遅らせる効果も期待されています。また、介護する人たちも、会話が弾むようになり、職場の雰囲気が明るくなったという報告もあります。

例えば「LOVOT」

2 介護用アシストスーツの活用

お年寄りのおむつ交換など腰の負担を軽くするアイテムも開発。

例えば 介護用アシストスーツ「J-PAS fleairy」

介護アシストスーツは、介護する人が着る特別なスーツ。体の動きを感じ取るセンサーが付いていて、腰をかがめるときに自動で手伝ってくれます。腰の負担を軽くしてくれるので、介護する人の腰痛やケガの予防にもなります。オムツの交換や体の向きを変える時などいろいろな場面で活躍します。

3 ポータブルトイレ

トイレの介護をサポートしてくれるアイテムも開発されています。

例えば「家具調トイレセレクトR 自動ラップはねあげ」

トイレが終わると、自動でおしっこ・うんちをフィルムで包んで密封します。においや汚れをおさえられ、介護する人の手間とストレスを軽くします。サイズや便座タイプも選べて、体格や生活に合わせて使いやすくなっています。

このように、最新の技術を使うことで、お年寄りも介護する人も、もっと快適に過ごせるようになるテクノロジーにこれからも注目していきましょう。

介護のお仕事の負担が軽減されています。

介護ロボットってどんなふうに使われているの？

［プロフィール］
坂下 哲朗さん
介護老人保健施設かけはし
介護部 介護福祉士（勤務歴18年）

最先端の介護施設に聞いてみました

Q. どんな介護ロボットを導入しているの？

ご利用者さんの眠っている状態をセンサーで確認できる介護ロボットを導入しています。夜中に職員が部屋に入る前にスマホやパソコンでチェックして、もし眠っている状態であれば、ご本人を起こさずに見守ることができます。

介護ロボットを設置しているようす

Q. 導入するとき、職員のみなさんはすぐに受け入れられましたか？

最初は「新しいセンサーが入るの？機械が弱いから、使えるか心配です」と少し戸惑いがありました。でも実際に使ってみると、「これは便利だね」とすぐに理解されました。導入時に少し説明の時間は必要でしたが、今では、職員からも「なくてはならない存在」と言われています。

Q. 導入する前と後で、どんな変化がありましたか？

施設には50人以上のご利用者さんがいて、夜の見回りも大変でした。介護ロボットが入ってからは、「誰が起きているか」「どこに行くべきか」がすぐにわかるので、職員が素早く対応できるようになりました。ご利用者さんの安全も守れますし、職員の負担も軽くなっています。

Q. これからの介護現場は、どうなっていくと思いますか？

ロボットやIT技術がどんどん増えていくと思います。たとえば、体を動かすのが大変な方のサポートや、腰に負担がかかる作業を助けてくれるような機器です。ロボットがあることで、より安心・安全な介護ができるようになります。これからの介護現場では、ロボットは“なくてはならないパートナー”になるはずです。

介護ロボット連携したスマートフォンの画面

Q. 最後に、介護の仕事に興味がある中高生にメッセージをお願いします！

介護の仕事は、ただ“お世話をする”だけではなく「その人ができることを増やす」「その人が次に目指すことを支える」という、“自立支援”がとても大事です。人としっかり向き合い、知識を使って考え、心を込めてサポートする――そんな力が必要とされる仕事です。将来、自分や家族のためにもきっと役立つ経験になると思います。ぜひ、チャレンジしてみてください！

取材先：社会医療法人北斗 十勝自立支援センター 介護老人保健施設かけはし

介護を変える！テクノロジーの力

［プロフィール］
稲葉 有沙さん
株式会社マルベリー在宅事業部 ロボット担当
福祉用具専門相談員

介護ロボットを取り扱っている会社に聞いてみた

Q. 御社ではどんなサービスを提供しているんですか？

介護ロボットや介護保険を使った福祉用具の販売とレンタル、住宅改修などを提供。見守りやコミュニケーション、移乗支援や移動支援、排泄支援、入浴支援など、約60種類の介護ロボットを取り扱っています。

Q. 介護の現場では、介護ロボットやICTはどのように選んでいるの？

介護の現場では、人材不足が課題となっており、色々な場面で、介護ロボット等を使って生産性を上げていこうという動きが盛んになっています。選定方法は色々ありますが、仕事の進め方の見直しなども検討しつつ、介護ロボット等を導入することが多いです。

Q. 現場の反応はどうですか？導入する前と後で、一番変わることは？

見守りセンサーで何部屋も見回りする手間が省けた、移乗介助ロボットを使って一人で介助できるようになった、排泄支援ロボットで排泄物を見ずにデータが取れるなど、作業の負担軽減を喜ぶ声が多いです。

Q. どんな時に「この仕事をしていて良かった」と思いますか？

展示会などで介護施設の方から介護ロボットに出会えて良かったという声や、ロボットを導入して介助者の負担軽減や利用者の日常生活における基本的な動作（移動や食事など）の向上につながっているという声を聞いたとき、この仕事の喜びを感じます。

Q. 未来の中高生たちに、伝えたいことは？

介護職は利用者さまから直接感謝される仕事で、それが魅力だと思います。今は高齢者の方がどんどん増えていますが、当社のように機器を通じて介護を支える会社があることを知ってほしいと思います。

Q. これからどんな風にテクノロジーは進化していきますか？

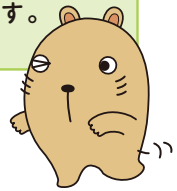
近年はAI技術の進化が進んでおり、今まで人が手書きで行っていた記録作業、データや数字の入力といった作業がAIで行われ、介護職の方は直接人に関わる業務に時間を費やせるようになっていくと思われます。

取材先：株式会社マルベリー

ミライの介護ガイド
MIRAINO KAIGO GUIDE

介護の職場ってどんなところ？

介護のしごとの現場は、さまざまな環境で
暮らす方々に合わせているので働く場所もいろいろあります。



施設系の介護のしごと

施設に入居する方に提供する介護サービス

WORK PLACE 01

特別養護老人ホーム

居住での生活が困難な高齢者の方に、日常生活上の
支援や介護を行います。

WORK PLACE 02

グループホーム

共同生活を営む住居で認知症の方へ入浴などの
介護や日常生活上の支援などを行います。

WORK PLACE 03

介護老人保健施設

身体・健康状態が安定している方に居宅生活復帰に
向けたリハビリテーションを中心とした介護を行います。

訪問系の介護のしごと

介護事業所の職員が利用者の居宅を訪問して提供する介護サービス

WORK PLACE 04

ホームヘルプ（訪問介護）

利用者の居宅を訪問し、食事・排せつ・入浴などの
介護や日常生活の支援を行います。

WORK PLACE 05

訪問入浴

利用者の居宅を訪問し、専用の浴槽を使って
入浴の介護を行います。

通所系の介護のしごと

事業所に通う方に提供する介護サービス

WORK PLACE 06

デイサービス（通所介護）

食事・排せつ・入浴などの介護や日常の
生活動作の訓練など行います。

WORK PLACE 07

通所リハビリテーション（デイケア）

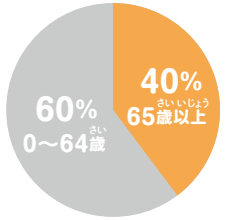
心身の機能の維持回復や日常生活の自立に必要な
リハビリテーションを行います。

ミライの介護ガイド MIRAINO KAIGO GUIDE

DATAでみる介護のしごと

「高齢化社会」ってなに？

Pick UP 北海道でも人口の高齢化が進んでいます。



2040年には？
北海道の人口の
約2.5人に1人が
65歳以上

私たちが暮らす北海道は、高齢者の人数が増加しています。このまま進むと2040年には北海道の2.5人に1人が65歳以上の高齢者になると予想されています。

Pick UP 介護を必要とする人も今後増えてきます。

要支援・要介護認定者数（介護が必要とされる人）

高齢者の人数が増えることで、介護を必要とする人も増えると予想されています。北海道で介護を必要とする人の数は2025年で約38万人、2040年には約43万人になると推測されています。

介護のしごとはこれからますます必要とされる
大切な職業なんだね。

Team KaiGO! DANCE

タレントのみやぞんさんが作ってくれた歌「Team KAiGO（チーム カイゴ）」で今年はダンスもいっしょに作りました！介護の施設だけじゃなく、おうちでもかんたんに踊れるようになっています♪
みんなもチャレンジしてみてね！

健康ダンス講師 谷口華苗さん
13歳でパラパラに魅了され独学で習得。「パラパラ健康ダンス」を介護施設や地域で普及する活動を行っている。

左右の手を大きく回します

手拍子のアクション

両手で元気よく手を振ろう

「チームかいご！」でガッツポーズ

両手を上げて手を結びながら下ろします

「誇りに思うよ！」で胸を手に

Q. ダンスの特徴は？

このダンスでは、歌の気持ちをこまかい手や足の動きで表現しています。子どもからおじいちゃんおばあちゃんまで、誰でもまねしやすいように、リズムや動きを考えてつくりました！

Q. ダンスをするとどんないいことがある？

「パラパラ」は、手と足をちがう動きにしておどるダンスです。体がやわらかくなったり、力がつくだけじゃなく、笑顔が増えたり おしゃべりが楽しくなったりするのも、すごくいいところです。

Q. どんな風に楽しめますか？

学校やデイサービスなどでのレクリエーションとしてもおすすめですが、おうちでも簡単に踊れるので、ぜひ家族でやってみてください！たくさんの人に知ってもらいたいので、動画をとってSNSなどにアップしてもらえるとうれしいです！

Team KaiGO!
◀◀◀ ダンス動画はこちら

※楽しく安全に行うため、十分なスペースのある場所で行ってください。また体調が悪い時は、無理をせず、病気や痛みがある場合は、医師等に相談をしてください。